

長いものに付巻かれる三度の食を三度にして行こう。莫もう俺達は欺
れぬのだ。黙って死ぬ位なら戦って死ぬんだ。諸君も知ってゐるだらう俺達も
よく知っておる今春櫻城炭坑争議の時機関銃で俺達の兄弟を撃つたし
六本木と又近頃は土井七口と争革命記念日に於ける奴等建玉會の暴行と
今又奴等自俺達の演説会まで打壊した。だ。而もこの憎むべき資本家奴
才の別働隊建玉會本部がこの同じ三河島にあるのだ。親戚なる同志誌
も戦は漸く耐ならんとしてゐる俺達は之を見悟してゐる。戦の道もた
従つて奴等の組織的な暴行迫害の加ふる事さだか俺達の血盟は固しや
べルかなんだ。つ。つ。つ。かなんだ正義の結束の目的には何ものもないかだ
各々各同志諸君。この俺達の戦ひを援けろ。強力なる別働隊を送れ
精銳なる援軍を派遣しろ。

九二七、一、二六 関東金屬労働組合

三河島町四八九梅津方東京建鉄分工場争議団

争議の

建鉄争議に關して固く概す

原又、信

東京建鉄の同志誌は一致団結して暴逆極まる親爺共に対して闘争を固
くし、昨日遂に全労働者から争議に入ることを決議したことは既報の通りで
ある。又して丁度当日は給料日にあたつてゐたので争議団の代表者は給料
を受取りに行つた計が争議資金の積立てられるのを恐れ親爺共は二十
日、二十日と何とか言ひを左右に托して仕拂うとしなさい。二十日と二
十一日と又二十三日も同様で代表者から會合の怖れで逃げ中やわつてゐた
漸く二十日になつて「給料を仕拂ふ而して皆一人々に渡すかを代表者に經りて
は渡さない」と言ひ、来てたうで一人々に受取りに行つたが室園らも奴等自
給料と一緒にケケ臭い端大金の解雇手当を要理矢理に強制して全賃
百三十名を解雇してしまふとした。この悪辣極まる仕打ちに憤激した
全労働者諸君は直に夫れを蹴飛ばして同日夜八時會館で批判演説会
を開いた。工場側と結託した専制政府の官憲自出る弁士々々悉く中止を命じ
えし、見ろ。遂に例の資本家の大建玉會のつ。つ。つ。共が官憲の擁護の下に
何時の同にか忍び込んで悪煽動のう。う。う。散布したりを機会として解散を命
じてしまつた。奴等自何時もの手を使ひ出した。會社と警察と建玉
會とのこの三角同盟によつて我々の同志の腹の底からの要れを掃つた。